

「キエー!」「ホゲェ〜」「ウエエ」

3土星座・優等生、奇声!で

みんなの目がパッチリ♡4月

更に参ります4月!

う〜む、上半期の中ではおそらくこの辺からが一つのカギになりますね。

今私が思うに、3月の段階で自分なりに少しでも光の元というか、今後自分が向かう世界の端っこでもつかんでほしい(頑張ろうぜ)と思うのですが、そのつかんでいるものの強度&確かさを自分で十分理解させるため…みたいに、なかなか揺さぶってくれる季節がやってまいります。

いや、意地悪ではないですよ?(大事)

ほら、不思議な宝の地図をもらったのなら、何はともあれ迷路に入らないとしょうがないでしょう(地図の真価が問われる)。道にわかりやすく順路が書いてあったり、案内のお姉さんが「こちらでございます」と親切にしてくれたりしたら、それ使うチャンスがないもん(笑)。

…と言いたいかのように、ここからの三か月は、いろいろございます。ござりそうです!

(っというか、すでにここまでだってあったじゃないかという気もするが、置いておく)

その第一弾・4月。

まず「この先何かあるで」の予感として、すでに3月27日、射手座土星が逆行をスタートさせております。ここまで何度も出てきているので復習みたいなものですが、一年で一星座、二年半で座を移動する木星、土星はどちらも「その時期特有の彩り、テーマをもっとも如実に表す星」と私は思っています。が…ここに来て、乙女座木星・射手座土星どちらも逆行モード。つまりは各星座のややネガティブな側面、言い方を変えるならもう一つの顔、二次的な

特徴が浮かび上がりやすい。変化球バージョンの影響力になって来やすいということです。

しかもこの二惑星は角度的にもぼっちり90度の位置(どっちもややひねくれモードなのに、ぶつかり合う場所に座っているみたいな)な上、これも先に出た冥王星だの天王星だのとも、強い影響を与え合う位置にいるし。

すでにこれだけでも「うるさ型、ひと癖あるタイプ、みたいな人が一堂に会している会議室」みたいな状況なのに(何があってもおかしくはない)、4月はこれ以外も怒涛の逆行ラッシュでございます(涙)。先に出た二惑星に続いて19日からは射手座火星が逆行スタート。で、この位置が魚座海王星とあら〜…という位置(これは3月からですし、徐々に動いていくので追々ずれますが)で、イメージとしてはそう、「空気の乾燥」みたい。直接的な害はそこまでないようできて、何かと手が荒れやすい、のどを痛めやすい、神経がささくれ立ちやすい…みたいな気配があります。デリケートさがアップってことかな。

さらに、連続して20日からは山羊座冥王星も逆行で、大局も膠着しやすいにおい(ぎゃー!)

で、とどめくらいの感じで、月末30日からは毎度おなじみ水星逆行もあるのですが(〜5月23日まで)。これがいるのも牡牛座ですな。

つまり、先の木星×土星(乙女座×射手座。共に柔軟宮)、火星×海王星(射手座×魚座。同じく柔軟宮)だけでも相当アレーな感じなんですけども(汗)。お気づきでしょうか…牡牛座、乙女座、山羊座の土星座三星座ですべて星が逆行することを…。

そして、大体逆行ってそんなに一瞬では終わりませんので、アレーって言っている間に、その土星座の一角・牡牛座に、太陽も来てしまうということを…。

細かく言い出すと文字数が無限にかかりますのでやめておきますが、これだけ聞くと、なかなかの規模で混乱をきたしそうな気配がぶんぶんですし、その逆行に関わるメンツがまたあらあんな感じで、一瞬非常に焦りました。

が…(先を見て) どうやら大丈夫そうです。

いえ、ちゃんと説明しますね。

先に出てきたこの配置、確かなかなかきつそうではあります。

なるべくわかりやすく、単純に書きますが。

そもそも12星座の中でも柔軟宮というのは主に感覚や観念を司る星たちで、言わば“ムード”を作っているメンバーと考えるといいかもです。実際の行動や物理的結果の大きさでいえば、活動宮や不動宮のほうが力があるのですが、柔軟宮の力は実体がないものを動かす種類のもので、彼らが盛り上がり、騒ぎ、活気を生み出せばそれに乗せられて他の星座が動きだし、本当に波がでちゃいますし、悲観的に、慎重に、冷淡になれば、そういう空気が世界に充満します。つまり侮れないということね。だからそもそもその星座たちに長期滞在する星がいるということは、「人々の気持ちや感覚的な面で刷新が必要、活性化しやすい」時期だという話で、そこが重要だとも読めるわけです。

これとは反対に、さっき話題になった土星座は、本来そういう観念的なことに一番惑わされないタイプの集まりです(唯一乙女座は両方に入っていますが、柔軟宮の中ではそれでも一番動かない・変化しないタイプです。でも今という時期のキーワードを担う星座ですからね)。

で、本当はその三星座に星があるなら、良い協調を見せて「世界は一定の法則により確固たるものになる」はず。土星座の持ち味は安定ですから、どっしりするはずなんです。が、肝心のその星たちが今回みんなして逆行するということは、「今の世界

の中で、安定していかなくてはいけないものが、一斉に不安定に変わる可能性を秘めた状態に」ってことでもあるわけです。

普段みんなワーワー言っている不安がることのできるのも、家に帰れば安心して休めるとどこかでわかっているからです。がこの時期は、この展開から読むと、自分の中での“支え”の部分がぐらつく可能性ありなんですな。クラスの中で最も落ちついている子が、一斉に挙動不審になるような「マジか…」的驚きがありそうですね(笑。いや笑い事じゃない?)。

しかもそれに気づく、一度明るみに出るのがこの時期ってことで、不安の程度はすぐに下がるとは思いますが、「今起こっているのは、“そのくらい”のレベルのことなんだな(これは相当だろ。何事にも高をくくりすぎるのはダメだわ)」という気持ちは、今後もずっと持ち続けることになりますね。

でも、ここまで言っておいてなんですが、全然悪いことではないんです。

あ、いいたとえを思いつきました。多分3月から続く内面的な揺さぶり、葛藤のせいもあって、道を見つめようと多分みんな、多かれ少なかれもがきます。で、そのもがきの中には、ある意味、自分自身の甘えや依存、大人になりきれなさ、モラトリアム的な発想も含まれているんでしょう。「悩んでいることで、何かもっと大きなことを回避したい、避けたい」みたいな。

ですが、ここで土星座の反乱(笑)?があることで、「おーい、そんなこと言っている場合じゃなかった!」(汗)と気づく面もあるというか。

やべえ、私たちはうどうだいつまでも観念的なところまでとどまっていられるわけじゃないんだ…。これは執行猶予期間だった。一刻も早くつかもぞ。譲れない何かがあるのなら、意地でも希望を見つけて



飛び出すんだ!みたいな「はっ!」と感を得られるんでしょう。ナイスです土星座(笑。そういうつもりは全くないと思うけど)。

柔軟宮だけに場を仕切らせておくと、いつまでも結論出ませんからね(そう、柔軟宮は基本ただいろいろ考えること自体が好きで、モラトリアム傾向集団ですから…)。

そう、実際に、主に気付きを与えるための配置だったと言いたいかのように、この状態は4月限定(またすぐ変わる)でもあります。そっちの話は5月ですとして…、こんな背景がありますので、4月は考えさせられるというか、ここまで考えてきたことが「別の方向からもうひと刺激を受けて、深まる」みたいなことが多そうです。多分思いがけない角度からなので、えっ!と驚く度合いが高そうですが、でも「おかげで目が覚めたわ…」という結論に結びつきそう。多分先月から積極的に自分を省みていた人は気づくのも早く、まだ着手できていなかった人は、逆に現実的な安定が揺さぶられることで「やっぱり方針の変更が必要かも…」となる可能性もあり。どちらにしろ「とか言って、さすがにこれはなくなりませんか? 安定ですよ?」と、何に関しても思わない方がいいでしょう。今すぐに知ることではなくても、変化の波は確実に来ています。たとえば会社内で思いがけない人事があったとき、「うちの部署には来ないでしょ」とは思わないこと。この変化は地響き?みたいなもので、じわじわ来ているだけで、今来ていないのはただ変化に時間差があるだけですから。

かつ、5月になるとその一角、乙女座木星は順行に転じますが、これは「順次、ルールを変える方向に一層、舵を切ることにした」という意志表示。今期の主役星がこう言いきつたらすべてはこっちに向かいます。堅実で保守的な面はありますが、乙女座は

非常に合理的な性格です。そのほうがいと判断したら自分を含め例外は作りません。かつ、手抜きもしないのできっちりやり遂げますから!

まあそんな感じなので(笑)、多少揺さぶりがあることはある程度頭に置きながら、でも堅実に、柔軟に対応することを覚えておけば大丈夫だと思います。自分の当たり前の日常をきちんとこなしつつ、それにすがりつかないこと。いろいろな事情でいつも通り上手く行かなくても、他の方法は必ずありますし、そこで多少何かを変えても現実には大した問題は起こりません。それなのに怖くて、二の足を踏むとしたら、それはむしろ変化に対し、感情面で過度に不安を感じているだけでしょう。かつ、パッと切り替えられれば不安の解消も早い時期です。

あと、この時期に何か変化が起こっても、それは本当に“暫定的対処”に過ぎない気もします。本格的な何かが見つかるのは少し後なので、今やっていること、手に入れているものは「あくまで間に合わせ」だとも思っておいて。それがわかっていれば、そこにそんなにこだわる必要はないともわかるはず。今日の前で必要なことをぱっと受け入れて、また必要ならいつでも着替えればいい。そんな感じがいいでしょう。

「今、誰が仕切ってると思ってるんですか?」リアルと夢に“橋”を架けられる 唯一の星・乙女座がんばる!5月

行きましょう、5月。

実質上先月とのつながりが強いですが、5月に入ると一斉に星が修正に入ってきた感じがして、そこがまた興味深いです。ご説明します!

11日に木星がキリッ!(順行)となる前に、土星座の一斉あわあわ状態のところへ、先に太陽が飛んでまいります(実際には一定ペースだけど、危機を知ってすぐ来たように思える。笑)。

これは見ようによっては、「今抱えている自分の問題、テーマは、観念的な部分で解決できることだと思っていたけど、違うんじゃないか。もっと根源的な部分、肉体的なレベルでの対処が最も効果的なのではないか?」と気づいたような感じもしますね。

この上半期、特に春先からは「人生の行き先を決める(主に内側で)」というテーマが見え隠れしており、確かにこれは、最終的に気持ちの中で定める種類のものではありませんが、「現実はこの世界に直に接しているこの肉体、生活上での感覚、快不快の中から重要なヒントをつかむことだってあり得るだろう。だとしたら、好き嫌い、愉快不愉快、そんな感覚がつかむ情報も、もっともってその判断に活かすべきではないだろうか」と言っているかのようです。

これ、確かに本当なんですよね。運命的なひらめきに導かれて…という聞こえはいいですが、別にそんなのまるでなくて、「ここは気持ちがいい」「これはつらい」「こっちはやっていますすがすがしい」。そんな自分の感覚をもっと大事に受け入れて、それに沿って物事を決めたいんですから。そういう正解の選び方だったこの世には十分存在します。

観念優位の柔軟宮判断に任せ切らず、俺たちの持っている現実的な、肉体的な判断基準も取り入れてくれ!

そういう土星座からの実に妥当な要求を、「そりゃそうだよな」と理解できるのが、太陽が来る時期(GWあたり)。

で、その情報をうまく応用し始めるのが木星順行のころ、くらいでしょうかね。

なので、ここまでこれという結論、光をはっきりつ

かめていなかった人も、「あ、もしかしてこういうこと?」という道筋、やり方のようなものがわかってくる気がしますし、既に分かっていた人なら、その道が安定し、太くなる。こういうタイミングになりそうです。「わかった」が、「よくわかった(忘れない)」に変わる感じかな。

また、あくまでイメージにしか過ぎなかったものを、形にしてみることに意欲的になりそうです。いい意味で証拠を出そう、みたいな?

今まではあくまでデザイン画だった服に対し(まだこのたとえ、続けます)、「ちょっとパターンに起こしてみようか」「仮の布で裁断してみようか」的作業を始めるみたいに。

いや〜。実際に手を動かすって本当に大事です。紙の上で何万本線を引いてもわからなかったようなことが、作ってみると瞬時に理解できる場合がありますからね。観念と実体の関係ってそんなものです。

でも逆に、実体(すでにあるもの)にこだわってばかりいたら、本当に新しいもの、思いがけない発想なんかはなかなか出てこない。これも本当なので、つまり必要なのは、

「非常にリアルで現実的な物質の世界と、飛びきりユニークで夢と波乱を含んだ観念の世界とを、柔軟に賢くつなぐこと」。

この星回りが伝えたい、本当の側面がだんだん見えてきている気がしますね。

多分これが今期の乙女座木星の本当の役割です。一見凄く難しいコンビネーションに見えるけど、実は乙女座はこの両方の資質を兼ね備えた唯一の星座ですから。

きっと木星に支えられ、やり遂げられるんでしょう。私たちは。

多分そのコツは、「大げさにしないこと」というのも、あると思います。



今は、どんなにビッグな(笑)ことをしたいのだとしても、冷静に、普通～な感じで施行するのが大事。あと、いきなり全部をそれにしよう!全身を染めよう!とか思わないで、コツコツ、一個ずつ変え、染めていくんです。それも非常に大事なポイントね。

変化って言葉は、大体の場合ダイナミックで情熱的で、とにかくうわっとした(笑)ものを感じさせはしますが、本当はその中にもいろいろな種類があるんですよ。

たとえば2015年上半年なら、火の星座に星が大集合し、獅子座木星が仕切っていたこのころにおいての変化はまさに「イエーイ!(速攻やっちゃおうぜ、勢い出そうぜ)みたいな感じでした。早くて軽くて明るい、ビシバシした短い鞭みたいな感じね。かたや少し後、2016年下半年になれば、今度指揮者は天秤座木星に移ります。天秤座は基本上品なおっとり型…に見えますが、実際は活動宮の一端を担う、自己主張の強い性格です。「変わるなら、変わった!という実感がはっきりないと満足できない!」(だから私にわかりやすくして。メリハリつけて)と要求してきそう。多分、望む変化の形にもっと波、緩急があるでしょうね。

でもこれらに挟まれた乙女座は、また全然違う性格です。前後がこういうタイプだからこそ(これもわかる気がする)、今は「俺は俺のやり方でやらせてもらうぜ」(ペース・スタイル乱さないでちょーだい)という主張が強い。一步一步、高い完成度で確実に行きたい。特に今は、他の似たタイプ、土星座のフォローも強い時期ですしね。譲らないですよ。みなさん、自分でできる範囲の“確実”を選びましょう。千里の道も一歩からですよ!(笑。めっちゃ乙女座っぽい)

6月のキラヒリ・2ndアタックは 柔軟宮4星座そろいぶみArmy 明るく軽く…返事は即答で!

最後参りました～6月です!

はい、3月から表面化しつつある「私という人生の旅の“目的”問題」ですが、6月頭早速「で、どうかね、今のところの答えはどんな感じ?」という問い直しが入りそうな気配。

そもそも先月の流れで、乙女座木星は「順次、ルールを変える方向に一層、舵を切ることにした」(前出)わけですが。

その上で感覚的な情報&肉体的な情報を、大変ながらも次々インプットして、現在猛烈に、暫定案ながらも新ルールを構築しようと必死ですし(ルールなしの世界なんて乙女座には耐えられないからな)、

さらに土星座の布陣には順行に戻った牡牛座水星が「遅れてすまんね」くらいの感じでやってきているので、つまり、かなりみんなの中で、社会の中の“整理作業”は進んでいる感じがします。

つまり上半期的な流れで全体で見ると、2015年までの質の高い“安定”をベースに、より上のレベルを目指して挑戦し出した、それができる基盤と意志を、段階的に示し始めた1～2月。その挑戦が軌道に乗るにつれて、大前提の“安定”に対し疑問を感じ始めた3月。

ここで「自分たちは何のために頑張るのか、本当の意味で目指すべきは何なのか」を、時間をかけて自分に問い、答えを出す作業に入り始めました。

それを受けた4月は、そもそもの“安定”自体にも変化が生じはじめ、「うわあ、これでいいのかな?とは思っていたけど、これ自体が変わってしまう可能性は考えてなかった」的に揺さぶられるものの、でも

その波乱を経て、3月につかみかけた～今も追っている自分なりの答えが本物かどうかを、いい形で試すチャンスになると感じ始め。

で、5月は頭を切り替え、「理由はともあれ、今というときに対応するには、随時変わっていく必要はあるらしい。まずは身近なところから」と認められるようになった。同時に、情報量としては幅広く大変ではあるものの、ある意味自分の全身全霊でいろいろなことを感じとり、「さあ自分はこういう風(ルール)にやっっていこう?」を、鋭く探索し始めた。

これがここまでのあらすじです(笑)。

6月はそのルール作り・探しがかなり進んでいるので、ある意味、現実的な世界では十分先が見えつつあるのだと思います。

が、多分星が本当に聞きたいのは「目先どうするかではなく、本質的な目的地は見えただろうか」というところなので。時期来たなと思うや否や、初旬にいきなり聞いてくる感じです。

しかし全然、一瞬たりとも余分に待ちませんね～柔軟宮(みなさんの中にあるこの辺のエネルギーがそれを聞きたがっております)。いや、このテーマは「時間をかければいってものじゃないでしょ(だから十分時間は取ったよ)」といたいのだろうな。それも本当ですけどね。

しかも、尋ねてくるのは大体日にちでいうと5日近辺かなと思います。

はい柔軟宮の最後の一翼・双子座に太陽&金星が到着し、しかも時は新月。月も双子座に滞在中で、ズバリ乙女座木星×射手座木星(逆行中)×魚座海王星と「柔軟宮のグランドクロス」(強力度最大規模)を作っちゃうほどのレベルです。

まさに「〇〇の返事、いつごろもらいに来るわ」と言っていたので、その日ドアを開けたら、その案件に関わるであろう全員勢揃いで聞きに来た、みたい

な感じ。

戦う気満々…とかではないけど、ドア開けたら「ある国の全軍が綺麗な隊列作って待ってた…」、そんなのをご想像ください。

「あ、これそんなに待たれていた、人生にとって影響力のある返事だったんですね」と瞬時に理解するような風景です。

こんな流れではあるので(笑。どんなだ?)、多分星座を問わず、何かしら今期中での答えを、この段階で一度は出すことになると思います。

とはいえこの話は柔軟宮マターなので、尋ねる方も「これで一生決定、変更絶対なし!とはこちらも思っていないから」という雰囲気でもあるでしょう。とはいえ適当な何かではない。暫定案ではあっても、本気です。

「もちろん、これからあなたが(私が)大いに変化していくことはわかっている。むしろそれも含めて、“いいこと”だ。が、それでも一旦ここで心を決めることはとても意味があるし、価値もある。あらゆる可能性の中で、夢と希望と限界の中で、あなたは何を引かれ、何に力をもらい、何に導かれたいのか?それがわかっていたら、…おのずと道は決まる。何かを選びなさい。相手はあなたに“選ばれたがっている”」

柔軟宮のグランドクロス軍の使者が言うメッセージはまさにこれでしょう。

うーむ、でも確かに書いてみるとわかりますが、「相手(道)の方も、選ばれたがっている」というニュアンスも、非常にある気がします。合っている感じがします。



夢見ることは自由で楽しく、ある意味責任がなくて、楽ですが。

全ての夢は、同時には手に入らないのです。

別に一旦これにしようか決めることは、他のすべてと決別することを必ずしも意味しませんけれども、でも一度しっかり目的地を決めないで、「どこに行こうかな」を永遠にさまよって、どこにも行けないまま終わってしまいます。

かつ、おそらく柔軟宮グラクロが本当に示すのは「選択の大事さ」ではなく、「どの道を進むにしろ、旅路を楽しむこと」の方なので。

いろいろ真剣に悩んだ結果、検討した結果、そしてその中のどこかに向き合った結果、

「どの道を通っても、自分は幸せになれるのだ」

これに気付いてほしい。こっちこそ問い正しの目的なんですよ。

歩きだささえすれば、それに気づくのは難しくない。でも歩き出さないと、わからないことだからでしょう。

なので、何か心を決めさえすればこの関門はクリアできますし、グラクロ軍は「そうか、じゃあ達者で行って来い」と言って笑顔で帰ってくれるでしょう。多分その後も、実際の生活面、作業上などではそんなに目に見えた変化はないかもしれませんが、「人生に対する心持ちが変わった、とても楽になった」、

こういう風を感じる人は多いかもしれませんね。

まあざらっと書きましたが(量はともかく)、ここはそれなりに葛藤のあるところですよ。でもいい意味でクライマックス的に受け取ってください。

誰かに急かされたからとか、何かに対する義務感とか申し訳なさととか、そういうものでものを選ばない

こと。自分を幸せにできるのは自分だけで、責任が取れるとしたらその範囲だけなんです。誰もがね。だからそこだけ究極は見ているとよろしい。

また反対に、不必要に欲をかけた判断もはねられます。「ああ、本当にそうしたいんだな」という欲の範囲なら自分に素直、率直な方がいいですが、そこに過度の甘えや怠惰な気持ち、人生に対するなめた態度が混じっていると、ばっさりやられるでしょう(相手が軍隊であることを忘れてはいけない)。

「あなたなりの、特別で最小で、かわいくて何より大事な幸福を選べ」

ここから外れないでください。ポッケに入る幸福くらいが、自分の適切なサイズです。

そんなセレモニータイムを越えた中旬、グラクロ団の一員・魚座海王星が、15日逆行を始めます。ああ、よかった。ここまでもし決断を引き延ばしていたら、さらに心の中が混迷を極めるところでした(未来形だけ)。セーフでした。

おそらく6月にいろいろ問われることには、もともと「これが正解だ」みたいなものが明確にないので、実際選びにくいといえば選びにくいんです。だからこそ暫定案でも許されるんだよね。そんな揺らぎも含めてOKだぞと。

たとえるなら、先の段階でいよいよある一つのデザイン案に絞り、「自分が作ってみたい服のライン」に向かって、布にハサミを入れ出すような感じでしよう。もう山ほど考えてデッサンは引いてきたのだから、後は何かを選んで作ってみるしかない。だから、もうその段階まで進んでしまっていれば、もしまたこのころ迷いが出てきても(本当にこれでよかったのだろうか…?)、「でももう切っちゃったもん!」という事実が不安も断ち切ってくれます。選んじやったんだからしょうがないよ、という潔さがね。

こちらが選んだある一つの選択肢が、その判断を

守ってくれる。

「自分を選んでくれたんだから、まっすぐこちらに向かって歩いておいで！」

と引っ張るメッセージを送ってくれるような。そんな感じがいたします。

同時に、多分このころはまあ全体的な流れも不安定というか、むしろ一個人の中より社会全体の方が「どうしよう…」という気持ちを抱えている感じで、不安だからこそ「ええい！」的強硬手段にも出やすい雰囲気があるのですが（いろいろな可能性を内に抱えていると怖くなるので、いざさか乱暴にでも、ひとつに絞り込もうとするとか?）。

だからこそ「切っちゃったんだから、しょうがないじゃーん」くらいの方がいい気もするし（他に絶対的な正解があるなら悩み検討する価値もあるが、そもそもそんなのないんだからさ）。

同時に「みんなはどういうかわからないけど、私はこの判断に満足しているんですよ」みたいなのが、強い時期でもあると思いますよ。いい意味での“自己満足”かな。

そう、上半期の最後は「自分がいいと感じていれば世界は素敵なところ」。

そんなメッセージで終わる雰囲気ですね。

実際、世界は着実にある方向には動いていますが、それは今、目に見えにくいし、自分がする行動や努力の成果も「コツコツが効く」分（まだ継続中なのよコレ）、「わーい！みたいにわかりやすい形になって帰ってくることも少ない」ので。

つまりは盛り上がり欠けるわけです。

だから、この柔軟宮的エネルギーが起こす、決断のもろもろも、

「現状、具体的なものが目に見えて動きにくいので、どうしても波風が少なくなり、それによっておこる勢

い、モチベーションの低下に不安、反発を覚えた人々や世界が、反射的にわざと自分の中を揺さぶって、波風を立てた。新しい何かを掻き立てようとした」。こんな風にも見えますからね〜。

「自分の内側を刷新して、より世界の明るい面を見よう。見る眼が変われば世界は本質的に変わるんだから」

さっきも出たこの台詞、もちろん星の促しという側面もあるけど、人間が本能的に成長を欲してそうした。そうなれるような展開を自ら呼んで引き起こした…。そうとも感じられます。

だとしたら、ますますこの世は面白い。

人間とは星とは、不思議な連動を持っていますね。

おそらくこれに続く、次回・2016年下半期は、また全然違う顔を見せると思います。

特に木星移動の9月以降ね。

天秤座に木星が移り、また活動宮が強く影響力を発揮するそのころは、より感情的に揺さぶられ勢いがあり、ある意味華やかで広がりもあるワクワクドキドキになる気がするけど、その分今得られているような安定感、ある種の一体感は失われるかもです。となれば、今はむしろこういうときにしかできないこと、気に留められないことをすべきでしょう。

果たして自分にとってのそれは何か、これも星の流れとともに考え、行動に移していきたいなあ、と思います。

ではここからは各星座にワーブいたします！

一層日常レベルで何が起こりそうか…かみ砕いてまいりますよ〜（レッツ・運の咀嚼。もぐもぐ…ごくり）。